



奈良県感染症情報

平成 29 年 第 1 週(1 月 2 日～ 1 月 8 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(平成 28 年 12 月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	5.54	(4.00)	↗	↑	↗	↘
2	感染性胃腸炎	2.41	(6.09)	↓	↓	↓	↓
3	流行性耳下腺炎	1.09	(1.03)	↘	↓	→	↓
4	RS ウイルス感染症	0.82	(1.15)	↘	↘	↓	↑↑
5	A群溶連菌咽頭炎	0.65	(1.09)	↓	↓	↓	↘

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

第 1 週もお休みの医療機関が多く、患者報告数は前週よりも少ないですが、インフルエンザは増加しています。20 歳以上の成人の報告が約半数を占めており、なかでも 60 歳以上が 10%を超えているのは、例年より多い状況です。65 歳以上の高齢者、各種の基礎疾患を有する方々は重症化しやすいため、特に注意が必要です。近府県でもインフルエンザは増加しており、今後の流行状況には注意が必要です。

昨年から引き続き、流行性耳下腺炎(おたふく風邪)及びマイコプラズマ肺炎は、例年より多い状況が続いています。

マスク・手洗い・咳エチケットを心がけて、感染予防対策を励行してください。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(平成 28 年 12 月) ◆

* ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	他	臨床診断名
インフルエンザ AH3	4	3			インフルエンザ(7)
インフルエンザ AH1pdm	1		2		インフルエンザ(3)
エコー 25 型	1	1	1		感染性胃腸炎(3)
3 型	1	1			RS ウイルス感染症(1)、喘息性気管支炎(1)*
6 型		1			感染性胃腸炎(1)
アデノ 2 型		1			喘息性気管支炎(1)*
ノロ GII	3	24			感染性胃腸炎(27)
コクサッキー A群16型	1				手足口病(1)
ライノ A		1			脳炎・脳症(1)**
C	2	1			手足口病(1)、ヘルパンギーナ(1)、脳炎・脳症(1)**
ムンプス G 型			1		無菌性髄膜炎(1)
ヒトメタニューモ		1			気管支炎(1)
パレコ 3 型		1			発疹症(1)
パラインフルエンザ 2 型		1			気管支肺炎(1)

*、**重複感染

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

— H29 ▲ H28 □ H27 過去10年平均

